

平成29年9月4日

報道関係の皆さまへ

公益社団法人 北海道森と緑の会  
理事長 堀 達也

「森の名手・名人」に北海道から5名が選ばれました

～平成29年度「森の名手・名人」の選定結果について～

今年度の「森の名手・名人」に北海道から次の5名の方が選定されました。

	(氏名)	(年齢)	(所在)	(生業)
1	浦川 太八	75歳	浦河町	アイヌの手仕事の伝承
2	及川 繁治	84歳	江差町	木工品作り
3	貝澤 雪子	76歳	平取町	アットウシ織り・草木染め
4	杉江 英雄	77歳	浦幌町	造林
5	成田 一盛	68歳	松前町	造林・造材

今年度は、全国で70名が選定されました

「森の名手・名人」は、平成14年から、公益社団法人国土緑化推進機構（主催）が林野庁や北海道森と緑の会などの協力のもとで実施。各都道府県の緑化推進委員会（北海道では、北海道森と緑の会）から推薦された方を対象に、「森の名手・名人全国選定委員会」で選定するもの。

本年度、北海道からは5名を推薦し、全員が「森の名手・名人」に選定されました。

この後行われる「聞き書き甲子園」の取組において、参加する高校生が、名手名人のところに聞き書き取材に訪れます。

【森の名手・名人】

「森づくり」「森の恵み」「加工」「森の伝承・文化」の4部門から、すぐれた技を極め、他の模範になっている達人を「森の名手・名人」として選定。

森の名手・名人は、技術の伝承や森林と人との関わりのPR、提言などを各地域で行う。

※ 名人のところへは、「森の名手・名人」の認定と連動して行われる「聞き書き甲子園」の取組において、高校生が聞き書き取材に訪れます。

【聞き書き甲子園】主催：農林水産省、文部科学省、環境省、公益社団法人国土緑化推進機構、公益社団法人全国漁港漁場協会、全国内水面漁業協同組合連合会、NPO法人共存の森ネットワーク

内容：今回選ばれた「名手・名人」のところに、「聞き書き甲子園」に参加している高校生達が「聞き書き取材」

訪れ、名人との対話を通して、名人の考え方や人となり「聞き書き」としてレポートにまとめます。作品は、3月に東京で開催されるフォーラムで発表するとともに、冊子、インターネットで公表します。

担当：北海道森と緑の会 畠田康之

TEL：011-261-9022

FAX：011-261-9032